

# 自治協ニュース

第2703号  
発行者  
八本松小学校区  
住民自治協議会  
H27.7.20

# まち歩きで実感 災害時の対応

## 防災マップ作成に着手 八本松南4・5地区と松風ハイツ 自主防災会

このほど、防災活動の原点ともいえる「防災マップ」作りについて、自主防災会が住民の皆さんと「まち歩き」を実施し、その作成に着手した。

**八本松南4・5地区  
災害時のみならず平常時でも  
危険な箇所見つかる**

八本松南4・5地区自主防災会は7月11日防災マップ作成のためのまち歩きを実施した。参加者は地区内の住民の方34名で3班に分かれ日頃

見慣れた町並みを災害時を想定してパトロールした。各班の発表によれば、傾斜度のきつい大きな斜面、屈曲した水路や過去に水氾濫を起こ

した場所、地震や強風により危険性のある構造物等の災害時に注意しなければならぬ箇所、グレーチングのない危険な側溝や陥没道路等の平常時でも注意が必要な箇所が多く見つかった。

日高防災会会長から本日発表された危険箇所を整理のうえ防災マップを作成するとともに、災害時要援護者の避難支援についても取り組む旨の報告があった。

**松風ハイツ  
複雑で傾斜のある地形  
集まりやすい地区の集場所を**



地区の西側を調査した参加者の皆さん

ルートを設定する課題もある。このため、13名の参加者は東西の二班に分かれ「まち歩き」を実施。その調査結果を基に安全な地区の集場所や避難経路が決定された。

松風ハイツ自主防災会は7月12日各班の班長を中心に防災マップ作りのための「まち歩き」を実施した。当地域は国道2号線で東西に分断された傾斜度のある地形のため、安全で集まりやすい地区の集場所を設定するのが大きな課題。



調査結果の発表 右上は同時上映された映像



水路の集場所での安全性を確認する参加者の皆さん



調査結果をまとめる参加者の皆さん

また、避難経路についても16年前の土石流による被害区域を回避した

最後に、永田防災会会長は参加者の皆さんに常日頃から今日のような災害意識をもって身の周りを注意し災害時に備えていただくとともに、今後も住民の視点で更に情報を収集し防災マップを充実させていきたい旨述べた。



調整池の機能を確認する参加者(東側調査)の皆さん



地区の集場所と避難経路を現地確認する参加者の皆さん



調査結果報告検討会



大人気 目玉おやじ



こわ〜いお話

7月4日夜 八本松小学校で「きもだめし」が行われた。あいにくの梅雨の雨にもかかわらず児童の参加数は昨年を約50名も上回る52名となった。

今年はお化けも進化をとげ、怖さだけでなく親しみのあるお化けも登場。子供たちもびっくりしたり、こわごわ握手したりさまざま。しかし廻り終えた子供たちはみんな笑顔で「楽しかった」

雨の中たすきわっていたいただいた関係者の皆さんに感謝しますと主催者の中森青少年育成部会長は語る。

「へっっちゃらだった」と感想を述べた。昨年 旧校舎に出現したお化けに続き今年のプレハブ校舎にあらわれたお化けも子供たちの思い出に永く長く残ることだろう。



ビックリ保健室



怖かったかい? 面白かった! かわいかった! 参加して良かった! 怖くなかった! へっっちゃらだった! でも最後は怖かった!!



初級将棋講座 駒の並べ方説明



やさしく指導 初級者



手合わせする中級者と 見守る地域の先生

7月4日午前 今年度最初の学校週5日制対応行事となる将棋教室が地域センターで開催された。

会場には昨年を上回る52名の小学生が参加。最近始めた初級の子供たちが最も多く、大山ハイツや松風ハ



上級者の研究会

たのしい将棋教室開催  
地域の先生もやさしく指導  
得をめざし熱心に  
取り組んでいた。